

第7回 近世陶磁研究会のご案内

近世陶磁研究会
会 長 大橋 康二

前回の第6回大会は、日本磁器誕生 400 年記念の年に当たり、近世の肥前磁器研究の諸問題をテーマとし、特に、近年の火災廃棄年代がわかる江戸前期の重要な資料について検討いたしました。

今回は日本磁器の源流である中国磁器について取り上げます。大会期日中は会場となる九州陶磁文化館で特別企画展として「日本磁器の源流」が開催されており、研究会での検討と展示をご覧いただければ肥前陶磁と中国陶磁の関係性がより深まると考えております。

なお、特別企画展の展示期間との関係から、開催日が通常より早くなっております。ご了承ください。

テーマ 『日本における明清の中国磁器』

期 日 平成 29 年 (2017) 1 月 14 日 (土)、15 日 (日) (開催日にご注意ください)

会 場 佐賀県立九州陶磁文化館講堂

参加費 1, 0 0 0 円

資料代 実費 (2, 0 0 0 円～3, 0 0 0 円程度の予定)

懇親会費 5, 0 0 0 円 (希望者のみ) [1 4 日 (土) 1 8 時～]

1 5 日昼食代 5 0 0 円 (希望者のみ)

- ※ 開催日が通常より早くなっております。ご注意ください。
- ※ 出欠についての連絡は必要ありません。当日に参加申し込みをしてください。
- ※ 大会に参加するためには参加費と資料購入が必要です。
- ※ 宿泊施設は各自でご用意ください。(宿泊施設の一覧をご利用ください)
- ※ 2 日目 (1 5 日) の開始時刻は 9 時 30 分からです。ご注意ください。

<日程>

平成 2 9 年 1 月 1 4 日 (土)

12:00 受付開始

13:00～13:20 総会

【発表】

13:20～14:20 (60 分) 記念講演「漳州窯青花大皿 (盤) の盛行について」 富永樹之

14:30～15:20 (50 分) 「日本などにおいて出土の明清の中国磁器 (染付中心に)」 大橋康二

15:30～16:20 (50 分) 「幕末～明治初期の肥前磁器の胎土分析による生産地識別 (中間報告)
—佐賀市三重津海軍所跡出土磁器との比較—」

田端正明・中野充・中野雄二

16:20～17:00 (40 分) 特別企画展「日本磁器の源流」自由観覧

裏面へ⇒

平成29年1月15日（日）

【発表】

- 9:30～10:20（50分）「長崎出土の中国磁器と国内流通」扇浦正義
10:30～11:05（35分）「肥前の芙蓉手皿 —中国芙蓉手皿の模倣と独自性—」山本文子
11:05～11:20（15分）特別企画展「日本磁器の源流」の見どころ紹介 山本文子
11:20～12:00（40分）特別企画展「日本磁器の源流」自由観覧（一部 学芸員説明を予定）
（昼食）（60分）
13:00～13:40（40分）【遺物の検討会】大橋康二
13:50～14:40（50分）「江戸出土の明・清代の中国磁器」堀内秀樹
14:40～15:30（50分）「天草陶磁器の海外輸出について ～採集品の分析を中心に～」
中山 圭
15:40～16:20（40分）討論会 司会：大橋康二 パネラー：発表者
16:20～16:30（10分）閉会式

*事務局連絡先 〒844-8585 佐賀県西松浦郡有田町戸杓乙 3100-1
佐賀県立九州陶磁文化館内
藤原・山本 TEL：0955（43）3681 / FAX：0955（43）3324

—最寄の宿泊施設—

有田町	民宿有田	0955（42）2537
	民宿やまだ	0955（42）2080
伊万里市	伊万里グランドホテル	0955（22）2811
	いまりホテル	0955（22）3118
	セントラルホテル伊万里	0955（22）0880
	ビジネスホテルかねこ	0955（22）5261
	今福屋旅館	0955（23）2020
波佐見町	長生苑	0956（85）2216
	泉荘	0956（85）2681
	和島屋旅館	0956（85）3009
	HOTEL AZ 波佐見店	0956（26）7701
	ホテルヴリスヴィラ波佐見	0956（85）8338
武雄市	セントラルホテル武雄	0954（20）1234
	パーソナルホテル遊	0954（23）2007
	楼門亭鷺乃湯	0954（23）2111